

7. 発電機(ガス系・冷却系・油系運転)運転試験

① 発電機ガス設備の作動確認を実施

- 発電機軸受室に窒素ガスを封入し、軸受室の圧力及び注入流量を確認する。
- 発電機機内を定格ガス圧力とし、水素緊急放出弁を動作させ、窒素ガス注入開始可能圧力まで降下する時間を測定する。

② 固定子冷却系、密封油系、相分離母線冷却系の運転確認を実施

各ポンプやファンの運転状態、系統状態、冷却器及びフィルタ差圧等に異常がないことを確認する。

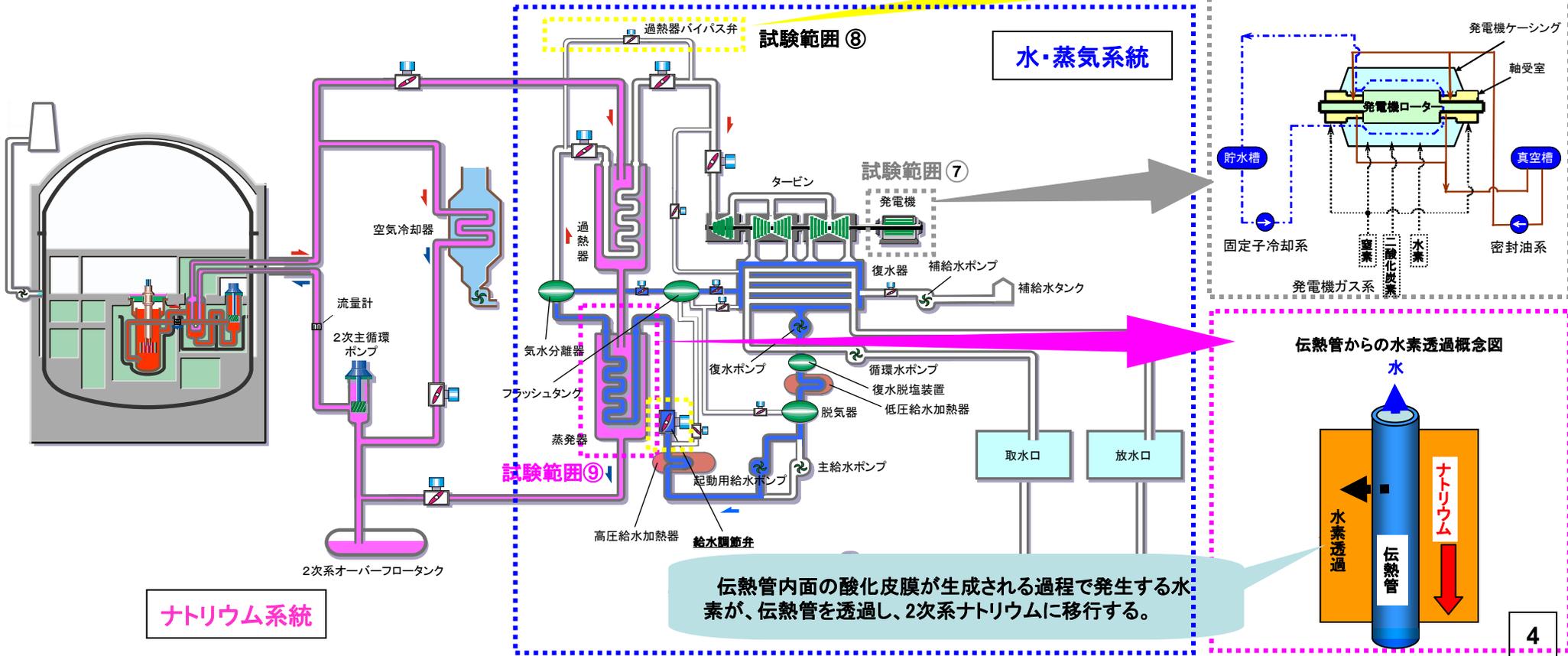
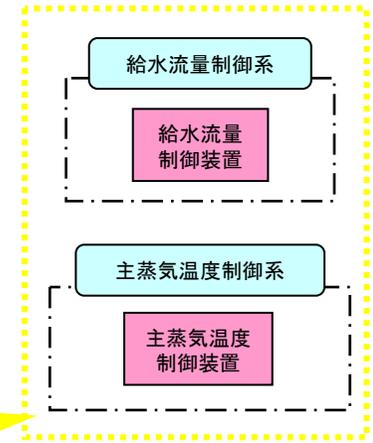
8. 原子炉制御系機能確認試験

○ 給水流量制御系試験、主蒸気温度制御系

給水流量制御装置を手動モードにして給水調節弁に開度指令信号を与え、給水調節弁の開度を確認する。また、主蒸気温度制御装置を手動モードにして過熱器バイパス弁に開度指令信号を与え、過熱器バイパス弁の開度を確認する。

9. 水漏えい検出設備運転試験

○ 蒸発器通水による2次系バックグラウンド水素濃度測定・・・蒸発器に通水することによって、伝熱管(水側)から透過する水素によりナトリウム中及びカバーガス中の水素濃度変化を測定する。



伝熱管内面の酸化皮膜が生成される過程で発生する水素が、伝熱管を透過し、2次系ナトリウムに移行する。